防災会報 2017

(一社)田川地区防災協会
NO.43
●発　行　一般社団法人 田川地区防災協会
●発行人　平田　篤三郎
●印　刷　㈲溝口印刷　☎42-2091

毎月1日は
防災の日です

(一社) 田川地区防災協会シンボルマーク

消防長賞

平成28年度 田川地区消防本部 防災作品
絵／赤小学校 5年 藤木　陽斗さん

主な記載記事

通常総代会…3
火災と救急の概要…4
実施した防災事業…5

●平成28年度　全国統一防火標語

消しましょう　その火その時　その場所で

●平成28年度　危険物安全週間推進標語

危険物　決めろ無事故の　ストライク

謹んで新年のお喜びを申し上げます

一般社団法人
田川地区防災協会
会長　平田 篤三郎

輝かしい平成29年の新春を迎え、常日頃から地域の安心・安全を守るために多大なるご尽力をいただいております一般社団法人田川地区防災協会会員の皆様と関係各位様に、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと18歳からの選挙権で、第24回参議院議員選挙の投票が行われ、リオ・オリンピックでは、多くのメダルを獲得するなどうれしい話題に日本中が沸き返りました。

しかし、国内の災害状況を顧みますと、自然災害が全国各地で猛威を振るい、4月には熊本県で震度7の地震が二度発生し、百三十九名の方が犠牲となる痛ましい出来事がありました。10月には鳥取県中部で震度6弱、11月には福島県沖で震度5弱の地震が発生しました。更に、台風が猛威を振り、北海道や岩手県では大雨となり河川の氾濫により多大な被害が発生し、激甚災害指定となりました。幸いにも、田川地区においてはさしたる被害はありませんでしたが、当協会といたしましては、設立当初から自主防災組織として、「自分たちの地域や職場は自分たちで守る」という意識のもと、災害が発生した際には関係団体と連携を図りながら、積極的に応急対策活動に参加する所存でございます。また、高齢者宅での防火診断や火災予防運動の協賛等の各種事業を実施し、田川地区の防災体制の強化推進に取り組んでまいりました。

今後とも、田川地区消防本部・署はもとより、各関係機関相互の融和強調を図り、地域防災拠点としての役割を果たせるよう防災力の向上に積極的に取り組み、意識も新たに防災活動を推進していきたいと考えています。

最後になりますが、田川地区住民の皆様をはじめ本会の会員様、関係各位の方々のご健勝、ご多幸を祈念申し上げまして年頭のご挨拶とさせていただきます。

田川地区消防本部
消防長　浦野 洋一郎

平成29年の新年を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

一般社団法人田川地区防災協会会員の皆様方におかれましては、平素から消防行政にご理解頂き、ご支援ご協力を賜り心からお礼を申し上げます。

貴協会の「自分たちの地域や職場は自分で守る。」という理念のもと、平成28年9月24日に開催された、住宅防火防災推進シンポジウムにおいては、平田会長に出席して頂き、盛会裏に終えることができ、田川地区住民の皆様に防火防災の意識の向上に資することができました。

しかし、災害について昨年を振り返りますと、4月の熊本地震、10月の鳥取中部地震、11月の福島県沖地震では、多数の犠牲者が出るなど、甚大な被害が発生しました。この4月の熊本地震にあっては、緊急消防援助隊として当消防本部から二隊、延べ43名が出動し、救命救助活動に従事しました。

幸い、管内では大きな被害はありませんでしたが、近年、相次ぐ地震や火山の噴火、そして、集中豪雨による河川の氾濫や土砂災害など、激甚災害に指定される大規模な自然災害が毎年発生しております。

災害による被害を軽減するためには、「自助・共助・公助」の有機的連携が不可欠であり、自主防災組織など自主防災体制の確立がこれまで以上に求められています。

消防本部といたしましても「災害のない町、田川・住みやすい町、田川」を目指して全力で取り組んでまいりますので貴協会をはじめ、消防団や関係機関等と一体となって、地域コミュニティ体制を強化していくため今後とも会員皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

終わりに、貴協会のますますのご発展と、会員皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

総会

平成二十八年度総会は、多数の来賓を迎え開催されました。議決された内容は次のとおりです。

一　平成二十七年度一般社団法人田川地区防災協会収支決算の承認について及び監査報告について

二　役員の選任について

平成28年度の定時総会が、平成28年5月24日(火)ザ・ブリティッシュヒルズにおいて開催されました。

平成27年度収支決算などの上程された議案はすべて議決されました。

また、議案審議に先立ち防災功労による表彰の授与も行われました。

防災功労表彰を受けられた方は次のとおりです。

防災功労表彰（会長表彰）

●防災協会役員功労者

中村　英氣（(一財)福岡県社会保険医療協会社会保険田川病院）

宮田　哲宏（㈲宮田設備商会）

後藤　康彦（㈲後藤商店）

西村　裕喜（西村石油㈲）

門前　進（㈱エコア北九州販売支店）

●優良危険物取扱者

日髙　厚（日髙石油㈱）

原　隆昭（高熱炉工業㈱）

村上　敏行（高生陸運㈱）

●優良消防設備士

小池　隆治（小池設備工業）

●優良防火管理者

辻　祐一朗（医療法人 上野病院）

仲村　信之（社会福祉法人 福寿会（特別養護老人ホーム）方信園）

桑野　和弘（日本フイルター工業㈱田川工場）

●優良業務主任者

志津　直美（篠原プロパン）

●防火優良事業所

西村石油㈲

日立化成オートモーティブプロダクツ㈱

㈱藤食糧

(一財)福岡県社会保険医療協会 社会保険 田川病院

社会福祉法人 慶寿会（特別養護老人ホーム）慶寿園

田川商工会議所

日本郵便㈱ 庄郵便局

川崎町液化石油ガス事業協同組合

●優良消防設備業者

㈱豐福空調工業

今年度理事及び監事選任されたのは次のとおりです。

（順不同敬称略）

理事

楠　哲也（太陽セランド㈱）

最所　豊（㈲永岡燃料）

山野　智士（㈱山野燃料）

監事

津島　潔（㈱ツシマ）

（平成28年中）

田川地区の火災・救急の概要

火災

平成 28 年中の火災件数は 52 件であり、昨年の 97 件と比較すると、45 件減少しています。

火災による損害額は、60,407 千円で、前年と比べて 16,513 千円の減少となっており、損害額の 97% は建物火災によるものです。

出火原因は、放火（疑い含む）が 7 件と最も多く、たき火が 6 件、たばこが 4 件となっています。

特に放火は、毎年上位となっています。家の外周に燃える物を置かないことが大切です。

出火原因	順位	1	2	3	4	5	6	6	8	8	8	8		
	総件数	放火（疑い含む）	たき火	たばこ	こんろ	電灯・電話等の配線	火遊び	マッチ・ライター	ストーブ	排気管	溶接機・切断機	灯火	その他	不明
合計	52	7	6	4	2	2	2	2	1	1	1	1	12	11

■火災の前年比較表

区分		平成27年中	平成28年中	増減
火災件数		97 件	52 件	-45 件
焼損面積	建物	1,908㎡	1,679㎡	-229㎡
	林野	29 a	0 a	-29 a
焼損棟数		53 棟	33 棟	-20 棟
り災世帯数		46 世帯	22 世帯	-24 世帯
り災者数		104 人	44 人	-60 人
死者		4 人	2 人	-2 人
負傷者		11 人	6 人	-5 人
損害額		76,920 千円	60,407 千円	-16,513 千円
全火災の 1 件あたりの損害額		793 千円	1,162 千円	369 千円
建物火災 1 件当り	焼損面積	50㎡	73㎡	23㎡
	損害額	1,473 千円	2,548 千円	1,075 千円
1 ヶ月当りの火災件数		8.1 件	4.3 件	-3.8 件
出場人員（延）		1,041 人	615 人	-426 人
備考		平成 28 年中の火災件数及び損害額（内訳） 建物 23 件 58,600 千円 林野 0 件 0 千円 車両 7 件 1,717 千円 その他 22 件 90 千円 （爆発） 0 件 0 千円		

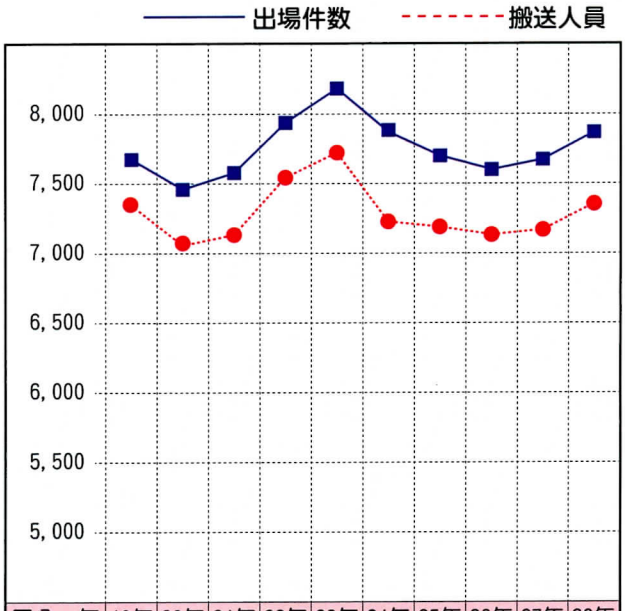
■救急の前年比較表

区分＼年	前年対比 平成27年	平成28年	増減	平成 28 年救急出場別 構成率%	順位
出場件数	7,681	7,807	126		
救急件数	7,110	7,258	148		
搬送人員	7,193	7,335	142		
救急出場件数 事故別	平成27年	平成28年	増減	構成率%	順位
急病	4,787	4,791	4	61.37%	1
転院	1,026	1,099	73	14.08%	2
一般負傷	920	932	12	11.94%	3
交通事故	515	459	-56	5.88%	4
その他	263	362	99	4.64%	5
自損行為	63	61	-2	0.78%	6
労働災害事故	39	42	3	0.54%	7
加害	31	31	0	0.40%	8
運動競技事故	16	15	-1	0.19%	9
水難事故	8	10	2	0.13%	10
火災	12	5	-7	0.06%	11
自然災害事故	1	0	-1	0.00%	
一日平均件数	21	21.3			

救急

平成19年以降、10年間の救急出場件数の推移は下表ののとおりであります。

1 日平均では、21件の出場件数になっています。



区分＼年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
出場件数	7,699	7,475	7,546	7,961	8,216	7,758	7,698	7,572	7,681	7,807
搬送人員	7,334	7,061	7,162	7,506	7,722	7,246	7,199	7,131	7,193	7,335

実施した防災事業

平成28年中

災害の未然防止を図るために、消防機関と協力して本年も各種事業を実施しました。
多くの人が安心して暮らせる田川を目指して、防災の輪を広げる活動を行っています。

防火診断を実施

当協会では、秋季全国火災予防運動期間に併せて高齢者家庭の防火診断を行いました。

防火診断では、ガスコンロや石油ストーブ等の火気の取り扱いや、コンセントのタコ足配線等について点検を行いながら、世間話を交えて火災予防についての話をしました。

防火診断の結果、火気の使用については良好でありましたが、何軒かにコンセントのタコ足配線やプラグの接続が不完全なものが見られたため、タコ足配線の危険性を説明し、必要な器具だけを接続するようにお願いしました。

また、寝室に住宅用火災警報器の未設置も数世帯あったため、住宅火災による死者の発生原因は、気づくのが遅れたことによる逃げ遅れが多いことを説明し、寝室に住宅用火災警報器を設置するように普及啓発活動に努めました。

このように高齢者家庭の防火診断は、火災予防に大変成果が上がっている事業です。

今年は、地震、台風等の自然災害が多く発生していることから、当協会としまして防災グッズ（非常持出袋）を贈呈することにしました

危険物取扱者試験準備講習会及び危険物取扱者保安講習会を実施

当協会では、毎年3回実施される危険物取扱者試験の受験者を対象とした試験準備講習会及び保安講習会を実施しています。

受講者は、次のとおりです。

・危険物取扱者試験準備講習会
6月5日（日）・・十八名
10月2日（日）・・十五名
2月7日（日）・・二五名

・危険物取扱者保安講習会
10月12日（水）・・二〇〇名
給油取扱所（一〇〇名）
その他事業所（一〇〇名）
10月13日（木）・・一四一名
給油取扱所（九〇名）
その他事業所（五一名）

役員視察研修

平成28年度の役員視察研修は、9月29日に実施し、18名の役員と1名の来賓及び事務局3名が参加しました。

今年度は、北九州市門司区門司海上保安部の施設を見学し、参加者は、海上保安庁の任務について、海上秩序の維持，海難の防止と救助活動及び海洋環境の保全と海上防災についての説明を受け、海上保安艇を見学しました。

最近では、尖閣諸島周辺海域における中国工作船及び漁船が領海侵入を繰り返し、我が国を取り巻く情勢の緊迫感等に伴い、みなさんが安心して海を利用できるよう努めています。

海猿の活動に参加者一同大いに興味を持っていました。

次に三宜楼茶寮は、木造三階建てで現存する九州最大級の建屋であり、門司港レトロを代表する建築物で、北九州市の管轄にあり、昭和の時代にタイムスリップしたようなほっとしたひと時を過ごすことが出来ました。

TOTOミュージアムでは、衛生陶器、小栓金具、食器をはじめとした、過去の水回り製品や資料を展示、約一世紀に渡るTOTOのものづくりの歴史だけでなく、日本の水回りの設備を見ることが出来ました。

火災予防運動を協賛 3月・11月

当協会では、春季及び秋季の火災予防運動の協賛を行なっています。

平成28年11月8日（火）大任町の道の駅おおとう桜街道で今任保育園が、9日（水）はサンリブ田川で、みのり保育園が参加して防火演奏を実施し、チラシ配布による火災予防啓発を行ないました。保育園児は、大きな声で防火の誓いを行いました。その後、防火演奏を行なった保育園等に記念品を贈りました。

お知らせ

平成29年度の各種資格取得試験及び講習会の予定をお知らせします。
会場の都合により変更する場合があるため、消防本部予防課内の事務局で確認して下さい。

●危険物取扱者試験

第1回　平成29年6月初旬頃
　願書受付期間
　　4月中旬から4月下旬まで
第2回　平成29年10月下旬頃
　願書受付期間
　　8月中旬から8月下旬まで
第3回　平成30年2月上旬頃
　願書受付期間
　　12月中旬から1月上旬まで

協会では、それぞれの試験日にあわせて、乙種4類の試験準備講習会を実施する予定です。
危険物取扱者試験は、県内4会場で実施されますが、筑豊地区は田川市の福岡県立大学が会場になります。

●消防設備士試験

第1回　福岡市・田川市
　　平成29年7月中旬頃
第2回　北九州市
　　平成29年8月上旬頃
第3回　福岡市・田川市
　　平成29年12月中旬頃

●危険物取扱者保安講習

平成29年10月中旬頃
筑豊地区会場は、飯塚市（飯塚地区消防本部）を予定しています。
受講者はいずれかの日に3時間の受講が必要です。危険物取扱作業に従事している次のような人が受講対象となります。
①継続して危険物取扱作業に従事している者は、前回の講習を受けた日以後の最初の4月1日から3年以内。
②新たに従事する者は、従事することとなった日から1年以内。ただし③に該当する者は③による。
③過去2年以内に免状の交付又は講習を受けている者は、免状の交付又は受講した日以後の最初の4月1日から3年以内。
※危険物取扱作業に従事していない人は受講の必要はありません。

●消防設備士法定講習

平成29年10月～12月（未定）
　消火設備　1日
　警報設備　1日
　避難設備　1日
筑豊地区の会場は、宮若市を予定しています。
受講対象者は、次のとおりです。
①消防設備士免状の交付を受けた日から2年以内の人
②前回の講習を受けた日から5年以内の人

●防火管理新規講習

消防法により建物の所有者などの管理権原者は、火災から人命を守るために防火管理者を定め、防火管理業務を行わせなければなりません。この防火管理者の資格は、2日間の講習を受けることにより取得できます。
①田川地区消防本部
　平成29年6月中旬頃
②県立飯塚研究開発センター
　平成29年5月24日・25日
　平成29年8月30日・31日
③直方市中央公民館
　平成30年2月6日・7日

住宅用火災警報器を取り付けましょう！

田川地区消防本部（署）
（一社）田川地区防災協会

火災により発生する煙を自動的に感知し、逃げ遅れなどからの被害を無くすために、住宅用火災警報器の設置が義務づけられています。
田川地区の設置率は、全国平均よりも低いため、火災から大切な家族の命を守るために設置を心がけましょう！
また、電池の寿命は10年が目安です。
電池を交換するか、新しい住宅用火災警報器に取り換えてください。

悪質な訪問販売にご注意!!

なお、消防職員を装っての販売や、高額請求など悪質な訪問販売の被害が発生しています。
消防職員による販売や、消防署が特定業者に販売を依頼することもありません。

一般社団法人
田川地区防災協会
へのお問合せ
事務局　田川市大字川宮1570番地
田川地区消防本部予防課内
☎0947-44-0650（内線133）
☎0947-44-6256（直通電話）

編集後記

会員の皆様、明けましておめでとうございます。

会員の皆様、明けましておめでとうございます。
この会報も今回で第43号となりました。会報発行にあたり会員の皆様にご協力いただき、心よりお礼申し上げます。
本年もよろしくお願い致します。

事務局長　佐藤　和久　　事務局　浦野　晃一
事　務　局　野澤　友宏　　事務局　浦川えみ子